

ゆめはく出動！ 「小さな学校キャラバン」

移動博物館車「ゆめはく」で学校へ

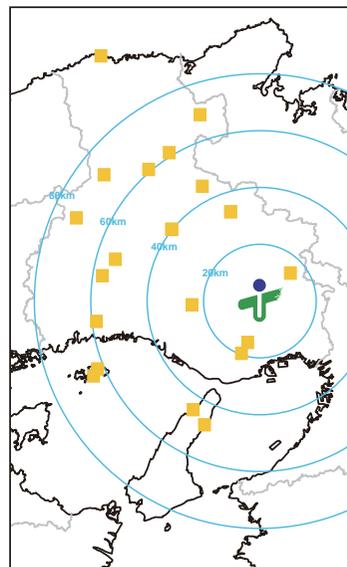
ひとはくでは、地域に出かけていく「キャラバン」事業を2002年から本格的に実施しています。念願の移動博物館車「ゆめはく」は、開館20周年(2012年)に導入され、地域のまつりや各種イベント等様々な依頼に応じています。2014年からは、来館が困難な県内の小中学校を対象に公募をして「小さな学校キャラバン」を開始しました。2014年7校、2015年6校、2016年8校にゆめはくが出動しています。次ページの地図はそれらの位置で、写真は、2014年、2015年の様子です。

学校からの応募動機には、来館することが困難である事情や「廃校前に楽しい思い出をひとつでも多くつくりたい」「地域の自然を感じさせてほしい」「標本や資料の持っている迫力や面白さを伝えたい」「オープンスクールと同時開催して保護者や地域の人々にも見てもらいたい」といった声の他、総合的な学習の時間や授業内容の補完を望む声がありました。



来館とはひと味違うキャラバンでの学び

実施までに担当の研究員が学校の先生と打ち合わせて内容を決めます。昆虫や化石に対するリクエストが多いですが、地元の自然を取り上げていることも特徴です。現地で調達したカマキリの観察・体験(家島小学校)、道谷の植物観察(道谷小学校)、学校ジオトープや佐治川で採集した微化石の観察(神楽小学校)、淡路産の化石展示(富島小学校)、地元の川で拾った石ころの観察とそれらを使った箱庭づくり(建屋小学校)といった具合です。終了後の先生からの感想文にも「自分たちの生活圏にいる昆虫・植物を改めて見直し、その豊かさに気づき、知ることに楽しさを思い切り味わった。今後、継続して学びを深めていく入口を開いてもらえた」「子どもたちの『自分達でもっと調べてみよう、身近な場所でも生き物を発見しよう』という実践につながる」「成長した時に、その分野へ興味を持ったり、自分のふるさとへの愛着も湧いたりすると感じた」など地域の自然を知ることから行



「小さな学校キャラバン」にて訪問した学校
(2014年度から2016年度)

北から、香美町立余部小学校御崎分校・豊岡市立但東中学校・朝来市立大蔵小学校・養父市立建屋小学校・宍粟市立道谷小学校・丹波市立神楽小学校・丹波市立船城小学校・宍粟市立千種小学校・神戸町立越知谷小学校・姫路市立安富北小学校・猪名川町立大島小学校・宍粟市立戸原小学校・小野市立河合小学校中学校・たつの市立揖保川中学校・神戸市立箕谷小学校・神戸市立星和台小学校・姫路市立家島小学校・姫路市立坊勢小学校・淡路市立富島小学校・淡路市立釜口小学校。2016年度実施予定校を含む。

八木 剛(自然・環境再生研究部)作成



動につながる大切さが指摘されています。また、「研究員にすぐに質問できる」「今までに捕まえた昆虫の写真を見直したり、図鑑を手にとらなかった子が動植物の本を読み出したり、通学路にいる生き物を育てようとしたりする子もいる」「一人一人が時間をかけ十分にみる事ができた」「自分の学校で実物をもとに見学することは、博物館に向くのは違い興味対象が焦点化され、一つの展示物に対しても友達同士の意見交流などでより深く興味をいだかせることができる」といった評価もありました。キャラバン事業の目的は、当初から人材育成であり、「地域を愛する心を育み、地域の自然・環境・文化を未来へ継承すること」をモットー

としており、学校との連携で少しずつ子どもたちが変化することを実感できました。

今後、拡充します

先生の感想には、「事前学習がない」「講義の内容が難しい」などの指摘があり、改善すべき課題もわかりました。また、大きな学校からも、「人数が多過ぎて博物館へ行くことが難しい」という声もあり、これから対象範囲を拡大する計画です。公募の際には奮って応募いただければ願っております。

藤本 真里(自然・環境マネジメント研究部)